

札幌社保協 FAXニュース

2014年 6月14日(土)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

札幌社保協総会
は6月19日(木)
菊水ビル4階

医療・介護総合法案を廃案に!

6/17に委員会採決か?!

「医療・介護総合推進法案」は6/22の会期末を前に、17日の参議院厚生労働委員会で採決される可能性が高くなっています。急いで国会へ抗議と要請のFAXを送りましょう。

特に介護保険では一定以上の所得の人を2割負担にする案で、可処分所得と消費支出の比較がそもそも違っており、支払える「余裕」がある等という根拠が崩れ、厚労省が撤回する事態になりました。こんないい加減な法案は撤回しやめるべきです。

抗議先：参院厚生労働委員会委員長 石井みどり（自民党、比例）
FAX（議員会館） 03-5512-2206



市交通局に要請 ▶ 精神障害者交通費助成を



5/28「札幌市の障害者交通費助成削減に反対する連絡会」は市交通局長を訪問し、「精神障害者への交通費助成を市交通から実施してほしい」と要請し懇談しました。

この間、2013年12月の市長要請では「真剣に考えていきたい」と回答があり、2月の事務折衝では交通局が先行実施する場合の、実施方法などの検討を始めていること等が明らかになっています。

出席者は「精神障害者は一定の収入がある仕事につきにくく、交通費負担が重い」「3障害が一つのくくりであるので、同じ対応にすべき。精神障害者の社会参加を積極的に進めてほしい」と発言しました。後藤連絡会会長は「交通局の先行実施は他の交通事業者に与える影響は大きい。精神障害者の人達も元気が出ると思う。3障害一元化の立場で考えてほしい」、榛葉事務局長は「バス会社などが実施できない状況であれば、市交通から先行実施をしてほしい」と重ねて要望しました。

要請に対し、若林秀博交通局長は「障害者の地域参加を広げるのは重要な役割であり、3障害同一が望ましい。地下鉄・バス・市電のネットワークの中で力を合わせていくのが筋である。市交通の先行実施については、①地下鉄などを先行してやるとバスと割引が違い、利便性からも検討必要、②交通事業者の経営面では赤字の状況からすると難しい、③交通局から国への直接の要請はしていない、④まだ検討を進めており結論が出ていない」と回答しました。

新婦人白石

医療・介護の一体改悪をやめさせよう!

6/7新婦人白石支部、6/6菊水地域の霜月班は「医療・介護の一体改悪」の学習会を、齊藤札幌社保協事務局長を講師に開催、両方で30人以上が参加しました。「私のひとこと」を集めて、国会へ送りました。

